



●復活後第一主日

泉のほとり

今月の詩編「第一一五編」

わたしたちこそ、主をたたえよう

今も、そしてとこしえに。

ハレルヤ。

さあ、朝の食事をしなさい

ペテロ、ヤコブ、ヨハネのほか4人の弟子たちは夜通し漁をしましたが、一匹の魚もとれませんでした。岸へ戻りかけていた時、岸から「子たちよ。食べ物を持っていないね」と声がありました。その声は、続けて「舟の右側に網を打つととれる」と教えました。その通りにすると、夜通しの労苦がまるで嘘であつたかのように、大きな魚が大量に網にかつたのです。ヨハネはペテロに向かって、「主だ」と言いました。ペテロは上着をまとつて、すぐに湖に飛び込み岸まで泳いでいったのです。とれた魚も、今までの労苦も、自分のことも、何もかも忘れているペテロ、その目には主だけが見えていたようです。

他の弟子たちがとれた魚を舟にのせ、陸につくと、そこには炭火がおこされ、すでに魚もパンも用意されてありました。「今とつた魚を何匹か持って来なさい」と言われると、ペテロが舟に乗り込みました。魚はどれも、目で追つて数えられるほどの大きさのものだけでした。ヨハネはその時、数えた魚の数まで覚えて記しています。153匹でした。

復活の主がその「とれたての魚」を焼き、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言われたのです。

弟子たち、特にペテロは凄絶な苦しみと痛み、悲しみを経験した者です。福音書には書いてありませんが、私の想像では、主が捕らえられる夜、三度も「主を知らない」と言ったその後、激しく泣いたペテロは、しばらく食べ物を口にするのがなかったのではないのでしょうか。悲しみに更け、食物を口にする気など全くなかったと思います。今まで何度、主と朝の食卓を共にしたことでしょうか。しかし、今弟子たちの目の前に用意されている食事は、特にペテロにとっては特別なものだったでしょう。しかも、夜通し苦勞した弟子たちのために、主自らがすべてを用意してくださつたのです。とれたての最高の魚をとらせ、用意され、それを焼いて「さあ、朝の食事をしなさい」と、言われる。これ以上の幸いがあるでしょうか。再び主と共に食事をしているこの時が最高の幸

いではないのでしょうか。もうそのようなことにはないと思つていたので。主が死んだから。しかし、今主とともに食事をしている。主が復活されたからです。

そこには「私をあなたの方に、左に」と願う声もない。もはやそのような邪な、不純なものを取り除かれ、唯々主のみを愛している、きよい心の者たちの食卓です。涙のパンを食べたことのない人には見えない主の恵みです。へりくだつた心のでなければ、知り得ない神の恵みです。自分の中にある汚れを汚れと見た、悲しみに更けていた者たちに与えられた喜び、聖なる食事でした。この世の何ものにも代えられないものです。

153匹の魚の網を引き上げるといふ働きはあつたものの、153匹の魚は決して自分たちの労苦による実ではないのです。それと同じように、弟子たち一人一人の人生、特にペテロの今までの生涯を振り返りますと、最初に主に出会つた時から、召し出され、教えられ、叱られ、痛みと悲しみの中で自分を思い知らされ、罪深さに気づかされ、絶望させられ、立ち直らされ、心へりくだらされ、以前とは違う新しい心へと、きよい、真実な愛へとされたのも、主であること、更にはその彼らのために聖なる朝の食事まで、すべてを用意されたのも、主であることを思わされるのです。

どうか主が私たちの主への愛も何一つ汚れない、しみやしわのない、非のうちどころのないものとしてくださいますように。そのために、主は今も使徒たちにされたように、御言葉とあらゆる出来事を与えられます。時には苦しみを与えられます。自分の中にある悲しむべきもののゆえに、涙のパンを食べさせられることもあります。しかし、それは掛け替えのない「朝の食事」を与えるためであることを覚えたいものです。死んでくださった主が生きておられ、今もお私のために執り成し、導いておられる。なんと幸いでしょうか。その主が復活され、生きておられる、これこそ人の幸いです。この仮住まいの時が過ぎたら、主イエスとお会いする。これ以上の希望はないのではないのでしょうか。

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《公 告》

左記により、四月教会総会を開催致します。
現任陪餐会員はご参加下さい。

2025年4月13日

キリスト品川教会
代表役員 黄允滉

記

日時 2025年4月27日(日)12時30分
場所 グローリア・チャペル・地下ホール

及びリモート

議題

1. 2024年度教勢報告承認に関する件
2. 2024年度諸会計補正予算及び決算報告、
財産目録承認に関する件
3. 2024年度諸報告に関する件

《今日のお知らせ》

○ 四月教会総会を二二時三〇分から地下ホールで行います。教会員の方はご出席ください。

○ 二〇二五年度の教会員名簿作成のため、本日の総会の際に昨年度の名簿を置きますので、誤りがないかどうか、チェックをお願いします。

○ 次回の洗礼式、転入会式は七月二〇日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、五月一八(日)日までに牧師宛へ提出ください。願書は事務所にあります。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇一一五篇】

わたしたちではなく、主よわたしたちではなく

あなたの御名こそ、栄え輝きますように

あなたの慈しみとまことによって。

なぜ国々は言うのか

「彼らの神はどこにいる」と。

わたしたちの神は天にいまし

御旨のままにすべてを行われる。

国々の偶像は金銀にすぎず

人間の手が造ったもの。

口があっても話せず目があっても見えない。

耳があっても聞こえず

鼻があってもかぐことができない。

手があつてもつかめず足があつても歩けず

喉があつても声を出せない。

偶像を造り、それに依り頼む者は

皆、偶像と同じようになる。

イスラエルよ、主に依り頼め。

主は助け、主は盾。

アロンの家よ、主に依り頼め。

主は助け、主は盾。

〔司・会〕

主を畏れる人よ、主に依り頼め。

主は助け、主は盾。

主よ、わたしたちを御心に留め

祝福してください。

イスラエルの家を祝福し

アロンの家を祝福してください。

主を畏れる人を祝福し

大きな人も小さな人も祝福してください。

主があなたたちの数を増してくださいるように

あなたたちの数を、そして子らの数を。

天地の造り主、

主があなたたちを祝福してくださいるように。

天は主のもの、地は人への賜物。

主を賛美するのは死者ではない

沈黙の国へ去った人々ではない。

〔司・会〕

わたしたちこそ、主をたたえよう

今も、そしてとこしえに。ハレルヤ。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「信じない者ではなく、

信じる者になりなさい」

聖書 ヨハネ20章24〜29節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「舟の右側に網を」

聖書 ヨハネ21章1〜14節

説教者 吉村和雄名誉牧師

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 147番 321番

説教 「わたしに従いなさい」

聖書 ヨハネ21章14〜25節

説教者 黄允湜牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 149番 151番
説教 「復活の確かなしるし」
聖書 ルカ24章36～43節(新約 P.161)
使徒1章3節(新約 P.213)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「キリストはよみがえり」 J.S.バッハ

○讃美歌149番

1. ところよにわたりていわえ
主はよみがえりたまいて
よみのとびらうちくだき
さかえにいらせたまえり
主イエスは死に勝ちましぬ
2. みよ、地はいのちにあふれ
野べには花さきにおい
樹々には鳥さえずりて
勝利の主をほめまつる
主イエスは死にかちましぬ
3. 死に勝ちたまえるイエスよ
み名をたたうるわれらを
とわにつきぬいのちもて
あらたにいかしたまえや
主イエスは死にかちましぬ

アーメン

○聖歌隊による讃美

「おどろくな」 M.フランク作曲
おどろくな
十字架につけられし
ナザレのイエスを
汝(な)れら 訪ぬれど
既によみがえりて
ここに居まらず
見よ ここなり おさめし所は
されど行きて告げよ
弟子たちとベテロとに
汝れらに先立ち
行きたもう ガリラヤに
まみえたまわん かしこにて
御言葉のごと

○讃美歌151番

1. よろずの民、よろこべや
主イエス陰府にかちませば
死のちから はや失せはて
ひとのいのちかぎりなし
2. 主はさかえの御座にまし
みつかいたち妙にうとう
「主イエス死にかちたまえば、
人はとわに生くべし」と。
3. 明日を待たぬいのちもて
なやみたえぬ世に住めば
たえがたくなしかるを
今は死なぬ身となりぬ
4. なみだの谷 雨ははれて
み国のみち のどかなり
いざうたえ しらべたかく
主のみさかえ 世のさちを

アーメン

聖餐曲「変奏付きアンダンテ」 F.メンデルスゾーン

後奏曲「キリストはよみがえり」 K.F.アルバス